

2008年7月24日00時26分ころの岩手県沿岸北部の地震について

岩手県で震度6強

7月24日00時26分ころ、岩手県沿岸北部の深さ約120kmで、M6.8(速報値)の地震がありました。この地震により、岩手県^{ひろのちよう}洋野町で震度6強、青森県^{はちのへし}八戸市、^{このへまち}五戸町、^{はしかみちよう}階上町、岩手県^{のだむら}野田村で震度6弱を観測したほか、東北地方を中心に、北海道地方から近畿地方の一部にかけて震度5強～1を観測しました。この地震による津波の心配はありません。

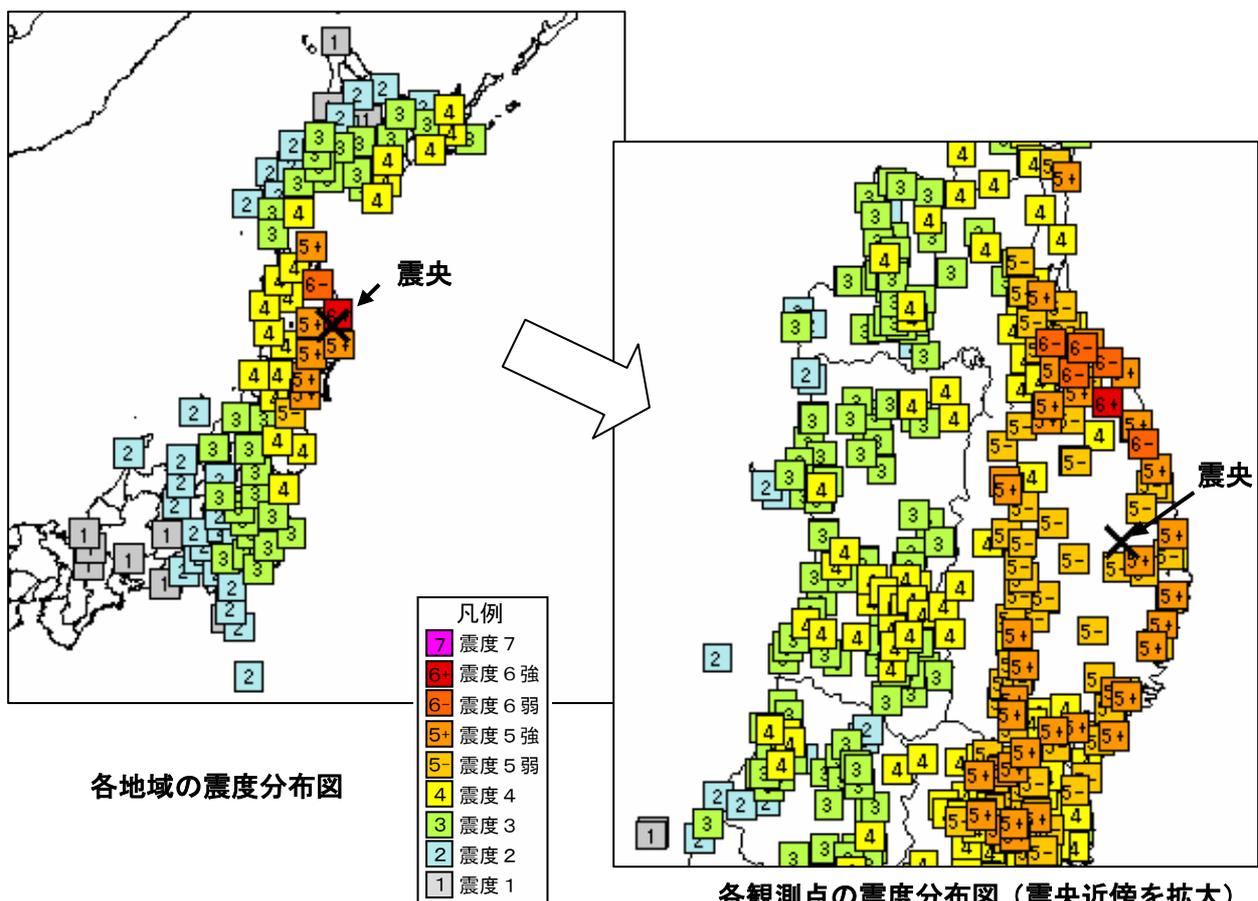
この地震の発震機構は、東西方向に張力軸を持つ正断層型で、太平洋プレート内部で発生した地震と考えられます。

24日01時45分現在、震度1以上を観測した余震はありません。

なお、青森県で震度6弱以上を観測したのは、1994年12月28日に発生した「平成6年(1994年)三陸はるか沖地震」(M7.6)で震度6を観測して以来です。また、岩手県で震度6弱以上を観測したのは、2008年6月14日に発生した「平成20年(2008年)岩手・宮城内陸地震」(M7.2)で震度6強を観測して以来です。

揺れの強かった地域では、家屋の倒壊などの危険性が通常より高くなっているおそれがありますので注意してください。また、降雨により土砂災害の危険性が通常より高まっていますので、注意してください。

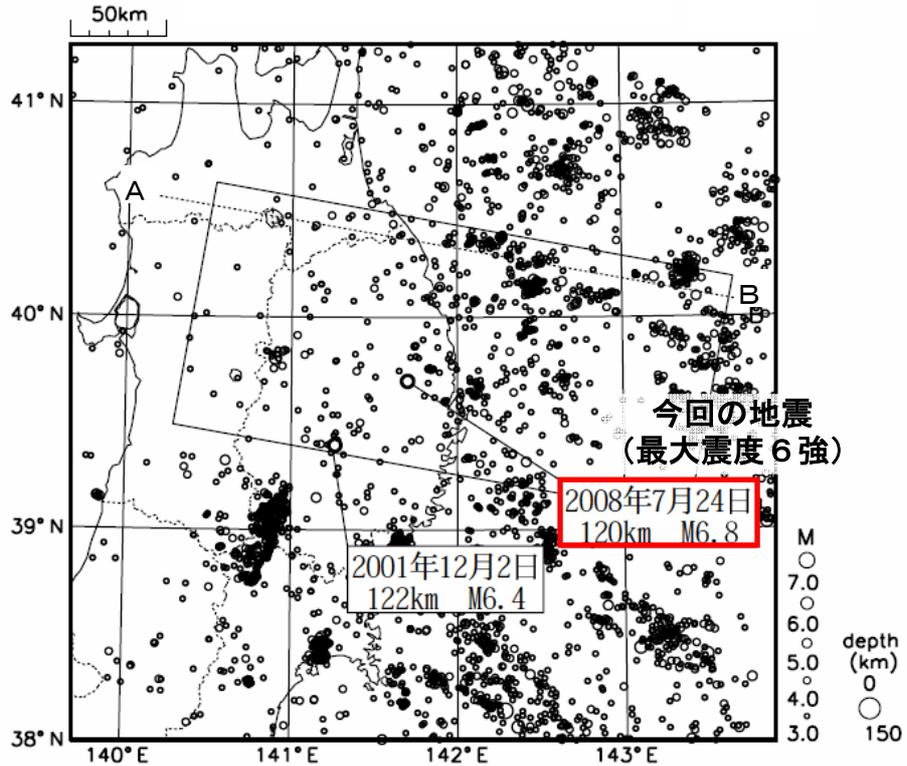
なお、地震検知から約20秒後に緊急地震速報(警報)を発表しました。



2008年7月24日 岩手県沿岸北部の地震 (発生場所の詳細)

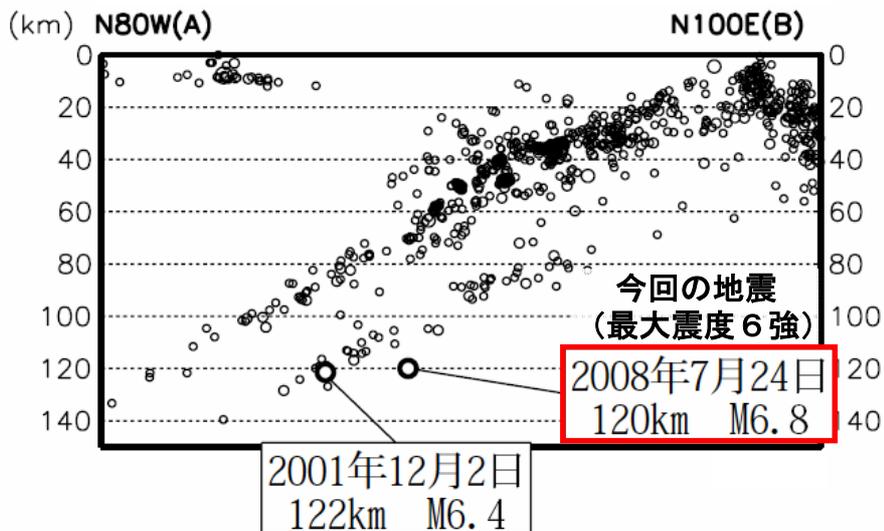
震央分布図

(1997年10月1日～2008年7月24日01時、深さ150km以浅、M3.0以上)



丸の大きさはマグニチュードの大きさを表す。

上図の四角形領域内の A-B 断面図

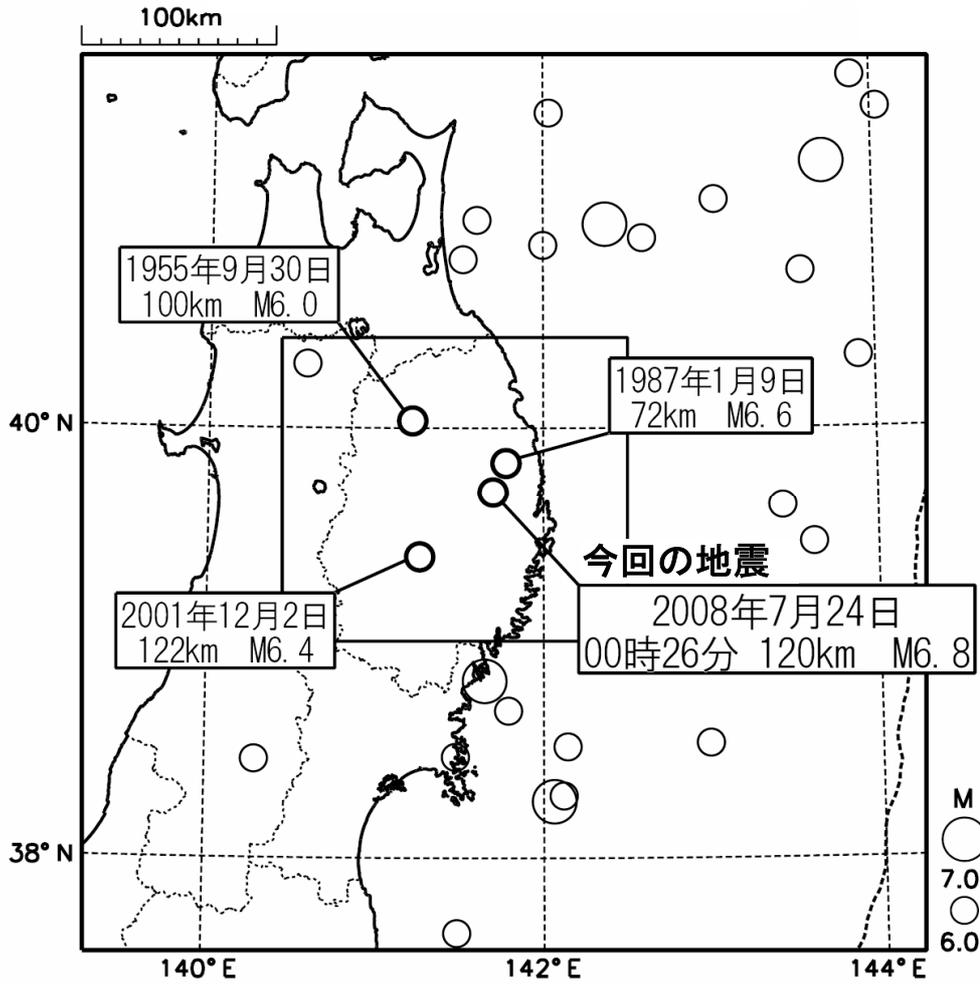


縦軸は深さを表し、丸の大きさは
マグニチュードの大きさを表す。

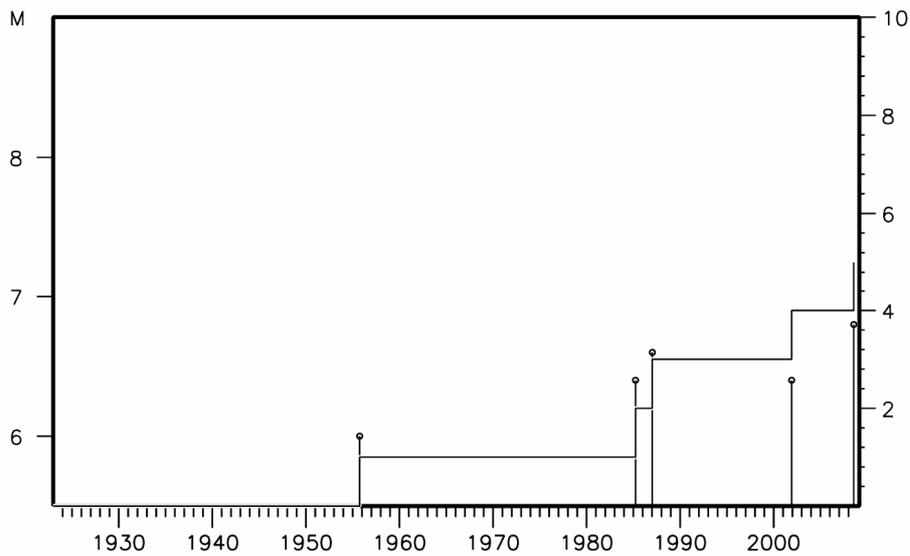
2008年7月24日 岩手県沿岸北部の地震 (周辺の過去の地震活動)

震央分布図

(1923年8月～2008年7月24日01時、深さ60km以深200km以浅、M6.0以上)



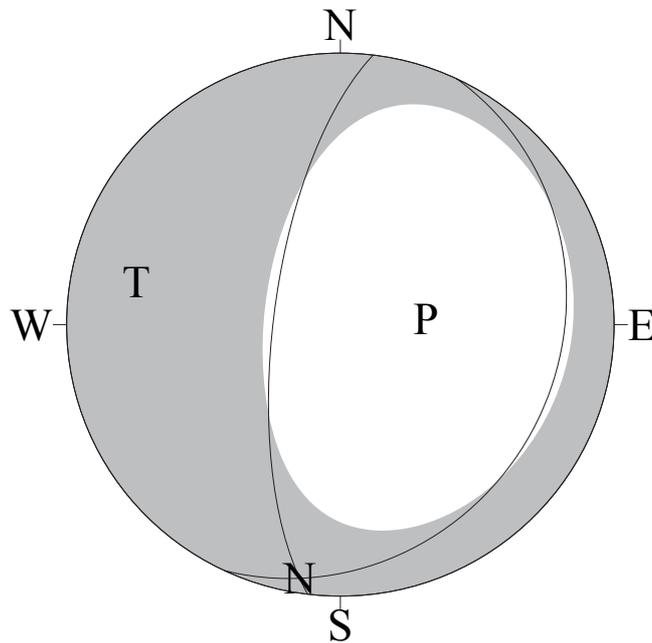
上図の四角で区切った領域内の地震活動経過および回数積算図



横軸は時間、縦軸は左がマグニチュード、右が地震の積算回数。折れ線は地震の回数を足し上げたものであり、縦棒のついた丸は地震発生時刻とマグニチュードの大きさを表す。

発震機構解 [CMT解] (暫定)

2008/07/24 00:26



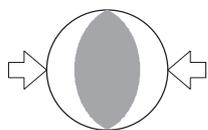
東西方向に張力軸を持つ正断層型

※ Pは圧力軸、Tは張力軸の方向を示す。(下半球等積投影)

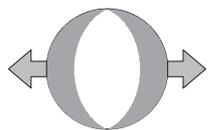
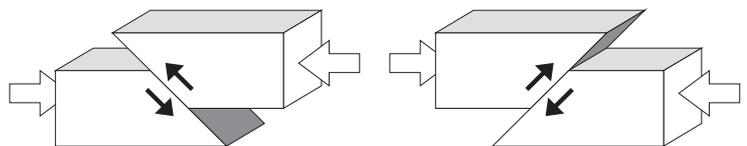
発震機構解 [CMT解] について

地震波形には、地震時に働く力の特徴があらわれます。
また、地震時に働く力の向きは、断層の型により異なります。
CMT解は、これらの性質を用いて地震波形から断層面を推定するものです。

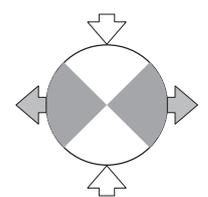
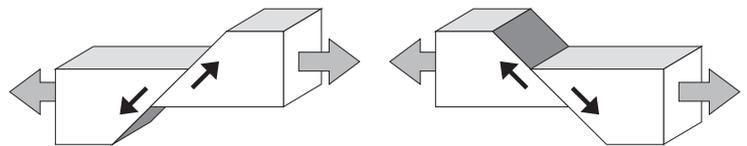
以下に、発震機構解と断層の型の対応関係の典型的な例を示します。



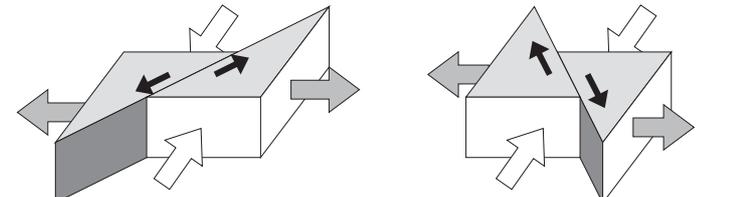
逆断層型



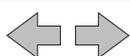
正断層型



横ずれ断層型



圧力 (押す力)



張力 (引く力)



断層がずれる方向

緊急地震速報の内容

発生した地震の概要（速報値）

地震発生日時	震央地名	北緯	東経	深さ	M	最大震度
平成20年07月24日00時26分	岩手県沿岸北部	39.7	141.7	120km	6.8	6強

緊急地震速報の詳細（網掛けは緊急地震速報（警報）を示す）

地震波検知時刻	00時26分35.2秒 (岩手田野畑)
---------	------------------------

提供時刻		経過時間	震源要素					予測震度
			震央地名	北緯	東経	深さ	M	
第1報	00時26分39.3秒	4.1	岩手県内陸北部	39.8	141.4	80km	5.8	1
第2報	00時26分39.9秒	4.7	岩手県沿岸北部	39.7	141.7	110km	6.3	2
第3報	00時26分40.8秒	5.6	岩手県沿岸北部	39.7	141.7	120km	6.2	3
第4報	00時26分44.5秒	9.3	岩手県沿岸北部	39.7	141.7	120km	6.5	4
第5報	00時26分46.1秒	10.9	岩手県沿岸北部	39.7	141.7	110km	6.5	5
第6報	00時26分56.0秒	20.8	岩手県沿岸北部	39.7	141.7	110km	6.9	6
第7報	00時27分05.1秒	29.9	岩手県沿岸北部	39.7	141.7	110km	6.9	7
第8報	00時27分26.2秒	51	岩手県沿岸北部	39.7	141.8	120km	6.9	8
第9報	00時27分37.2秒	62	岩手県沿岸北部	39.7	141.8	120km	6.9	9

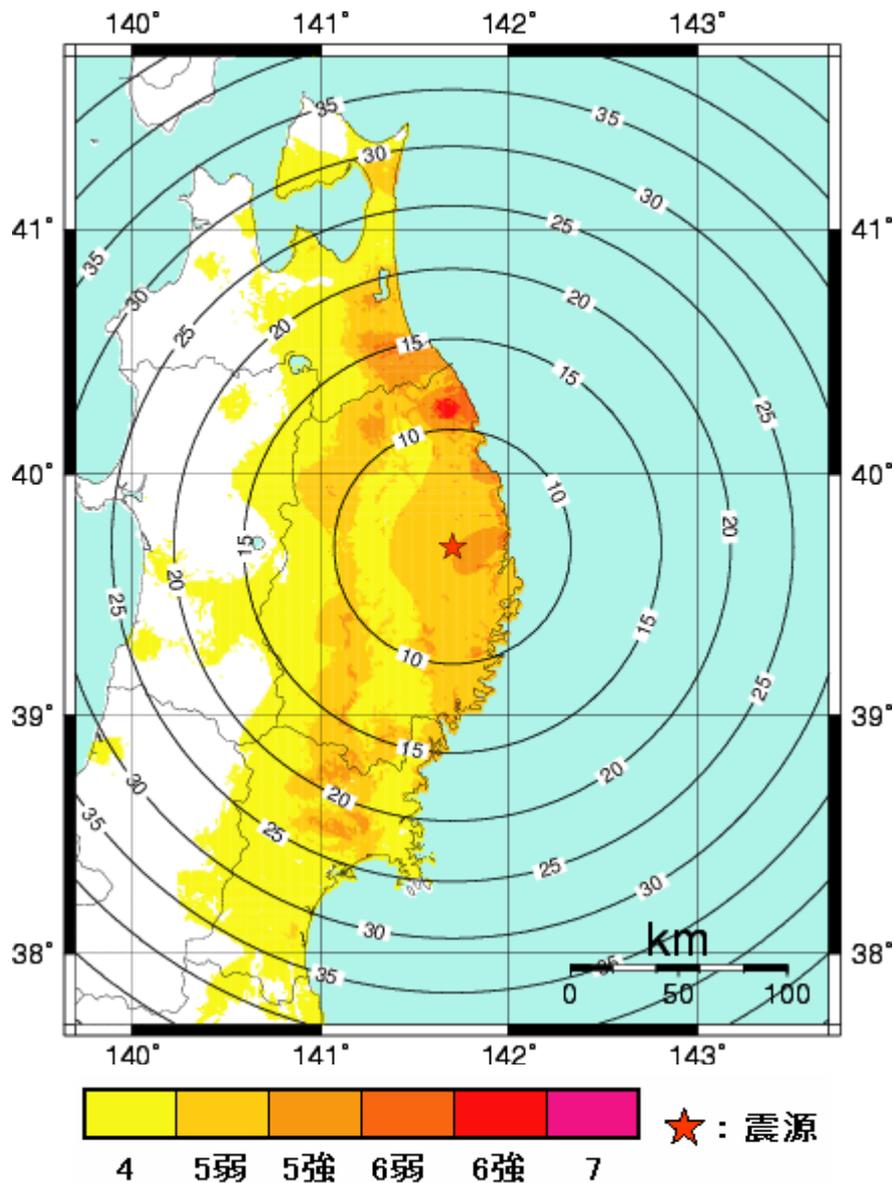
- 1 震度 4 程度 岩手県内陸北部、岩手県内陸南部、岩手県沿岸北部
震度 3 から 4 程度 岩手県沿岸南部
- 2 震度 4 程度 岩手県沿岸北部、岩手県内陸北部、岩手県沿岸南部、岩手県内陸南部、青森県三八上北、秋田県内陸北部、秋田県内陸南部、宮城県北部、宮城県中部、秋田県沿岸南部、秋田県沿岸北部
- 3 震度 4 程度 岩手県沿岸北部、岩手県内陸北部、岩手県沿岸南部、岩手県内陸南部、青森県三八上北、秋田県内陸南部、宮城県北部、宮城県中部、秋田県沿岸北部
震度 3 から 4 程度 秋田県内陸北部、秋田県沿岸南部
- 4 震度 4 程度 岩手県沿岸北部、岩手県内陸北部、岩手県沿岸南部、岩手県内陸南部、秋田県内陸南部、青森県三八上北、秋田県内陸北部、宮城県北部、青森県津軽南部、宮城県中部、秋田県沿岸南部、秋田県沿岸北部、青森県津軽北部、山形県庄内、青森県下北、宮城県南部
震度 3 から 4 程度 山形県最上
- 5 震度 4 程度 岩手県沿岸南部、岩手県内陸南部、秋田県内陸南部、青森県三八上北、秋田県内陸北部、宮城県北部、青森県津軽南部、宮城県中部、秋田県沿岸南部、秋田県沿岸北部、青森県津軽北部、山形県庄内、青森県下

- 北、宮城県南部、岩手県内陸北部、岩手県沿岸北部
- 震度 3 から 4 程度 山形県最上
- 6 震度 5 弱程度 岩手県沿岸北部、岩手県沿岸南部、岩手県内陸南部
- 震度 4 から 5 弱程度 岩手県内陸北部、青森県三八上北
- 震度 4 程度 宮城県北部、青森県津軽南部、宮城県中部、秋田県沿岸南部、秋田県沿岸北部、山形県最上、青森県津軽北部、山形県村山、山形県庄内、青森県下北、宮城県南部、福島県浜通り、福島県中通り、新潟県下越、渡島支庁西部、渡島支庁東部、秋田県内陸南部、秋田県内陸北部
- 震度 3 から 4 程度 山形県置賜、檜山支庁
- 7 震度 5 弱程度 岩手県沿岸北部、岩手県沿岸南部、岩手県内陸南部
- 震度 4 から 5 弱程度 岩手県内陸北部、青森県三八上北
- 震度 4 程度 山形県村山、山形県庄内、青森県下北、宮城県南部、福島県浜通り、福島県中通り、新潟県下越、渡島支庁西部、渡島支庁東部、秋田県内陸南部、秋田県内陸北部、宮城県北部、青森県津軽南部、宮城県中部、秋田県沿岸南部、秋田県沿岸北部、山形県最上、青森県津軽北部
- 震度 3 から 4 程度 山形県置賜、檜山支庁
- 8 震度 5 弱程度 岩手県沿岸北部、岩手県沿岸南部、岩手県内陸南部
- 震度 4 から 5 弱程度 岩手県内陸北部、青森県三八上北
- 震度 4 程度 秋田県内陸南部、秋田県内陸北部、宮城県北部、宮城県中部、青森県津軽南部、秋田県沿岸南部、秋田県沿岸北部、青森県津軽北部、山形県最上、山形県村山、青森県下北、山形県庄内、宮城県南部、福島県浜通り、福島県中通り、新潟県下越、渡島支庁西部、渡島支庁東部
- 震度 3 から 4 程度 檜山支庁、日高支庁東部、山形県置賜
- 9 震度 5 弱程度 岩手県沿岸北部、岩手県沿岸南部、岩手県内陸南部
- 震度 4 から 5 弱程度 岩手県内陸北部、青森県三八上北
- 震度 4 程度 秋田県内陸南部、秋田県内陸北部、宮城県北部、宮城県中部、青森県津軽南部、秋田県沿岸南部、秋田県沿岸北部、青森県津軽北部、山形県最上、山形県村山、青森県下北、山形県庄内、宮城県南部、福島県浜通り、福島県中通り、新潟県下越、渡島支庁西部、渡島支庁東部
- 震度 3 から 4 程度 山形県置賜、檜山支庁、日高支庁東部

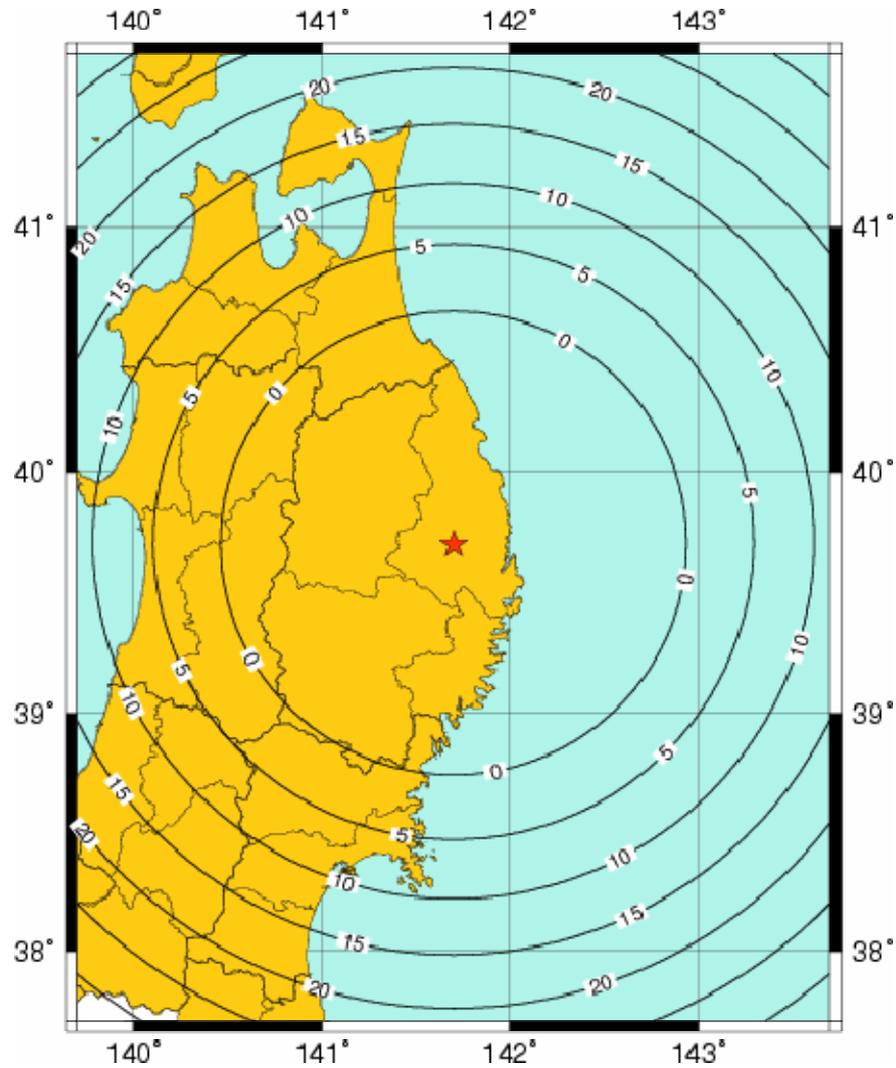
緊急地震速報（予報）提供から主要動到達までの時間

平成 20 年 07 月 24 日 00 時 26 分 岩手県沿岸北部
北緯 39.7 度、東経 141.7 度、深さ 120km、マグニチュード 6.8（速報値）

緊急地震速報（予報）第 1 報提供から
主要動到達までの時間及び推計震度分布図



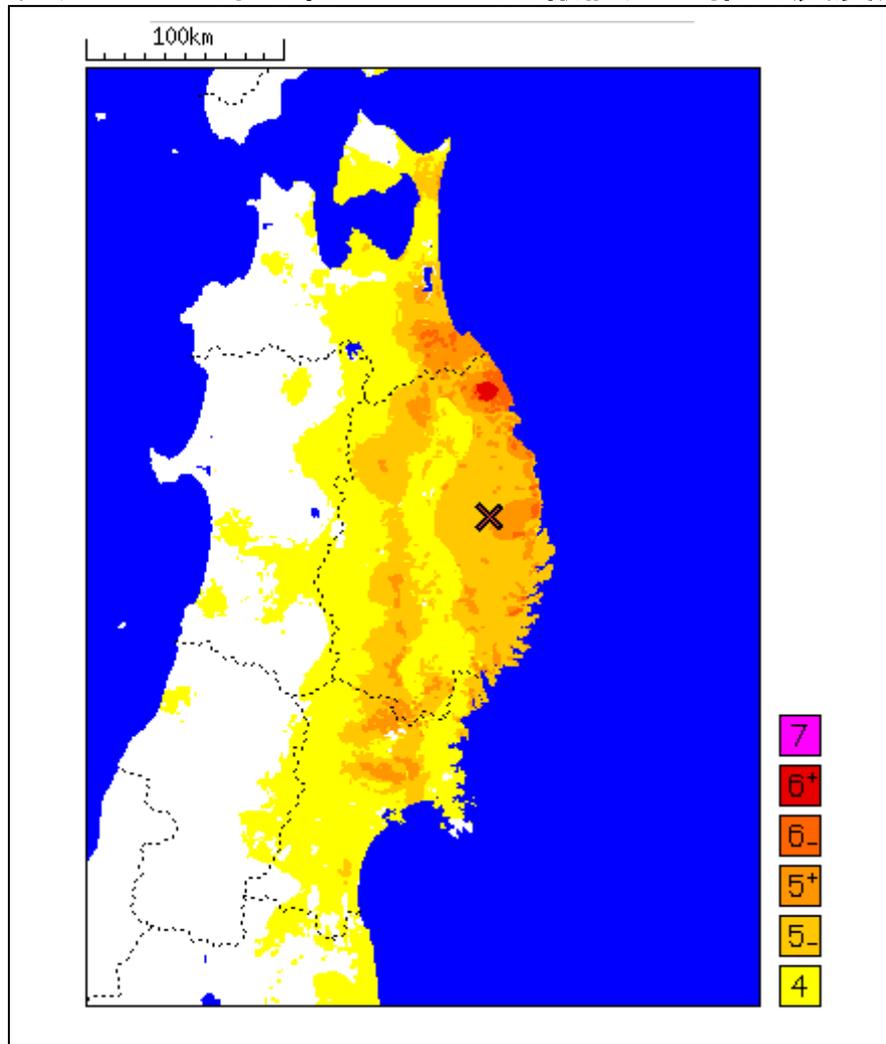
緊急地震速報(警報)を公表した地域及び 主要動到達までの時間



 緊急地震速報(警報)を公表した地域

 : 震源

2008年7月24日00時26分頃の岩手県沿岸北部の地震（M6.8深さ約120km：速報値）の推計震度分布図



〔解説〕

東北地方の太平洋側を中心に震度4以上の地域が広がっています。岩手県と青森県の沿岸部の一部には震度6弱以上の地域が見られます。

震度6弱以上のところでは、多くの建物で壁のタイルや窓ガラスが破損、落下したり、耐震性の低い住宅が倒壊するなどの被害を生じている可能性があります。

＜推計震度分布図利用の留意事項＞

地震の際に観測される震度は、ごく近い場所でも地盤の違いなどにより1階級程度異なることがあります。また、このほか震度を推計する際にも誤差が含まれますので、推計された震度と実際の震度が1階級程度ずれることがあります。

このため、個々のメッシュの位置や震度の値ではなく、大きな震度の面的な広がり具合とその形状に着目してご利用下さい。